ONLINE WOEKSHOP FOR PROFESSIONALS OF GLOBAL HEALTH

グローバル組織でのサバイバル術

目的：

・多様なバックグラウンドを持つ人で構成されるグローバル組織では、日ごろのコミュニケーションやミーティング等のさまざまな局面において、日本人同士での仕事とは異なる振る舞いが求められます。「日本と同じ感覚で仕事をしていたら評価が下がってしまった」「内部昇進の機会を逃してしまった」というケースも珍しくありません。

・今回は、国際機関に勤務する日本人若手・中堅職員や、これから国際機関を目指す人を対象に、円滑な業務遂行や内部昇進に不可欠なマインドセットやビヘイビア、コミュニケーション、異文化理解などのエッセンスを提供します。

・企業でも国際機関でも、多様性の高いグローバル環境で仕事をする際の要諦は変わりません。今回は国内外のグローバル企業で豊富な実践経験を積んだ講師を招き、その実際を学びます。

対象者：

・国際機関の若手・中堅職員
・国際機関に応募している方
・原則として2回ともご参加できる方

※本ワークショップは厚生労働省の委託事業として邦人職員の増強を目的としていますので、日本国籍保有者のみを対象としています。何卒ご了承下さい。

2023/3/3(金), 3/24(金) （2回開催）

いずれも日本時間 20:00～21:30

主催：グローバルヘルス人材戦略センター
形式：オンライン・トレーニング
使用言語：日本語
参加費用：無料

登録方法：1．ご氏名、2．ご所属、3．現在のステータス（①国際機関にて勤務中、②国際機関に応募中、③その他）、4．メールアドレスをお書き添えの上、info@sustainahealth.jp（ccにejibiki@hosp.ncgm.go.jp）までメールをお送り下さい。

登録締切：2023/2/28(火)17:00

※締切後に、ご登録頂いた方にZoom URLをお送りします。

Program

■1回目：2023年３月３日（金）20:00-21:30(JST) オンライン

テーマ「グローバル組織でのサバイバル力」

・本トレーニングの目的
・日本人が注意したい、誤解されやすいビヘイビア
・不必要にニコニコする、すぐ同意する、とりあえずYESはNG
・議論、意思決定、情報共有－目的別のミーティングでのコツ
・「単なるアピール」と「仕事の成果を正しく伝える」ことは違う
・「沈黙は金」ではない。発言＝貢献と考えよ

講師：*杉田勝好*
アステラス製薬株式会社 専務担当役員人事・コンプライアンス担当

京都大学を卒業後、旭化成株式会社に入社。London City大学（現ロンドン大学シティ校）経営大学院修了。ジョンソン・ エンド・ジョンソン、アストラゼネカ株式会社、日本マイクロソフト株式会社等にて人事ヘッドを務め、現在、アステラス製薬 専務担当役員 人事・コンプライアンス担当（Chief People Officer and Chief Ethics & Compliance Officer）。

■2回目：2023年３月24日（金）20:00-21:30(JST) オンライン

テーマ「異文化対応力 」

・1回目の振り返り
・実例①―着任後数か月で信頼を失った日本人のケース
・実例②－オフサイト会議がきっかけで崩壊した多国籍チーム
・国が違うとコミュニケーションや意思決定はこんなに違う
・日本の特徴と「グローバル組織でのサバイバル」
・２回を通したラップアップ

講師：*小野崎耕平*
一般社団法人サステナヘルス代表理事

ジョンソン・エンド・ジョンソン（J&J）、英製薬企業アストラゼネカ執行役員（法務・広報・政策担当)、非営利シンクタ ンクの日本医療政策機構事務局長を経て、エゴンゼンダー東京オフィスにて経営人材の採用・評価・育成、企業統治改革 のコンサルティングに従事。公職では、厚生労働省保健医療政策担当参与、厚生労働大臣の私的懇談会「保健医療2035策 定懇談会」事務局長、データヘルス改革推進本部アドバイザリーボードなどを務めた。現在は、複数のグローバル企業の アドバイザーとして経営人材育成、組織改革、ヘルスケアビジネスの事業戦略立案等に携わるほか、公衆衛生、保健分野 の次世代リーダー人材の育成に注力している。聖路加国際大学公衆衛生大学院教授（医療政策・管理学）。